

↓耳川に向けて一斉放水を行う美浜消防団員



**防火・防災を誓う  
美浜消防団出初式**

1月8日に、美浜消防団出初式が耳川左岸等で行われました。  
式では、18台の消防車から耳川に向かい一斉放水を行った後、消防団及び防犯隊90人が消防車を従え、はあとびあ前を分列行進しました。  
行進後は、消防署横で観閲式が行われ、敦賀美方消防組合副管理者の山口町長から観閲を受けました。

↓アレルギー対応食(ポテトグラタン、もやしラーメン汁、もちもちさつまいもドーナツ)を調理する参加者



**子どもみんなが食べられる料理を  
アレルギー対応食料理教室**

1月14日に、アレルギー対応食の料理教室がはあとびあで開かれました。  
この料理教室は、町内の保育園で提供しているアレルギー対応給食のレシピを、子育てに活かしてもらおうと町が開催したものです。  
参加した保護者約10人は、卵・乳・小麦を使わないアレルギー対応食の調理方法について学んでいました。



↑分列行進する美浜消防団員

↓レインボーラインでの撮影に臨む出演者の朱智偉さん(左から2人目)と王淑婷さん(左から1人目)夫妻



**映画「サクラサク」の監督・田中光敏氏指揮のもと  
インバウンド(訪日観光客)向けPVを撮影**

1月13日から16日にかけて、町のプロモーション映像の撮影が町内各地で行われました。  
この映像は、台湾を中心とする外国人観光客を誘致するため町が作成するもので、台湾石門区でのオーディションで選出された夫婦が町内を旅する内容になっています。  
今回作成する映像は、台湾でのPR活動に活用するほか、今春には、インターネット等で公開する予定です。

↓矢を放つ森本豊さん(左)と中島健雄さん(右)



**五穀豊穡と地域の繁栄を祈願  
弓打講**

1月9日に、弓打講が八幡神社(新庄)で行われました。  
この神事は、放った矢が的から外れることで、その年の豊作と厄払いになると伝えられているものです。  
袴姿の弓打ち役2人は、甘酒やわらびの白和え等を板の上に供えた後、「ヤリマシトー(やるぞーという意味)」と叫びながら的を外して矢を放ちました。1人6回ずつ弓を引いた後、矢拾い役が矢を拾って的に突き刺し、神事を締めくくりました。

↓まな板の上の鯖をさばく金谷拓海さん(左)と奥村侑生さん(右)



**鯖を切り分け大漁を祈る  
板の魚の儀**

1月1日に、板の魚の儀が稲荷神社(日向)で行われました。  
この神事は、その年の海上安全と豊漁を祈願するために毎年元旦に行われているものです。  
区民約50人が見守る中、「若い衆」と呼ばれる袴姿の児童2人が、今年の恵方の北北西を向き、「大漁、大漁、大漁」と声をあげ、板の上の鯖を見事にさばきました。

↓知事奨励賞を受賞されたためたんごの会



**ためたんごの会が  
県民社会貢献活動知事奨励賞を受賞**

12月12日に、福井県県民社会貢献活動功労者知事表彰の表彰式が福井県庁で開かれ、美浜町からはためたんごの会が表彰されました。  
本表彰は、県民社会貢献活動のうち、特に優れた活動や先駆的な活動をしている個人・団体に対して福井県が行うもので、同団体は、継続的な絵本の読み聞かせ活動や交流活動等が評価され受賞に至りました。



まちウォッチング  
atching





## 子どもの“言葉”について 悩んでいませんか？

子育てをする中で、子どもの“言葉”について悩んでいることはありませんか？

「よその子はあれだけしゃべるのに、うちの子はどうして？と比べてしまう」「言葉が不明瞭で、子どもの思いを理解できずイライラしてしまう」「なんで？なんで？と聞いてくる子どもの返事に困る」等、子育てをしていると、ちょっとしたことでイライラしてしまったり、「自分の子だけが違うのではないか」と考えがちです。

子育て支援センターでは、言葉と聞こえの専門家である言語聴覚士との相談会を開催しています。家族以外の第三者に悩みを相談することで、気持ちが軽くなるだけでなく、新たな解決方法が見つかることもあります。

子どものおしゃべりや言葉について困ったことがあれば、1人で悩まず気軽にご相談ください。

### ◆ 次回の相談会

- ◆ 日時 2月16日(木)午前11時～
- ◆ 会場 町子育て支援センター
- ◆ 内容 座談会形式での相談
- ◆ 参加費 無料

※予約は不要です。  
※子どもの年齢は問いません。

詳しくは、わくわくカレンダー2月号をご覧ください。

### ※お問い合わせ先

子育て支援センター(担当・高木) ☎32-0192

## 腸内細菌の研究と新事実

「菌を食べる」と言うと驚くかもしれませんが、しかし、良く考えると、ヨーグルトや納豆を食べる方は、健康的だと考えて菌を食べているわけですね。

食べ物から得た菌は腸の中に存在し続け「腸内細菌」となります。最近耳にする言葉ですが、研究によって少しずつ面白いことが分かってきました。



東部診療所 村寄医師

は大きな影響を与えていると言われています。人の体にとって一番のエネルギーである糖分も、腸内細菌のバランスが崩れると吸収率が変わると言われています。吸収率が下がる場合もあれば、吸収し過ぎる場合もあるのです。

また、腸内細菌は、人の作り出す酵素では分解しにくい食物繊維を分解する機能も担っており、この機能に影響が出ることで、肥満症や糖尿病にまでなるのではないかとされています。食べ過ぎだけが肥満の原因ではないと言われる時代が来るのかもしれない。

### ※お問い合わせ先

東部診療所(村寄医師) ☎37-2911

### 1,000種類、100兆個

人の消化管の中にはなんと1,000種類、100兆個の細菌が存在すると言われ、あまりの多さゆえ、最近ようやく分析出来るようになってきたという程です。ちなみに、人の便は食べ物の残骸とつい思いがちですが、実は、便の半分以上が腸内細菌とその死骸からなるというから驚きです。

### 腸内細菌のバランスと 体のエネルギー

腸内細菌は、大きく2種類のグループに分けられ、この2つのグループのバランスが私たちの体に

## あなたの胃は大丈夫？

町では、生活習慣病の予防、がんの早期発見・治療のために、特定健診、がん検診の受診を勧めています。皆さんは受診されていますか？

### ■美浜町のがん検診受診状況

美浜町のがん検診受診率(※1)において、各種がん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん)の中で、胃がん検診のみ、国の目標値(受診率50%)を下回っています。

(※1)平成24年度～27年度分、70歳未満が対象

### ■美浜町の胃がん発見率

美浜町の胃がん発見率は、国の発見率と比べて2倍(※2)と高い水準にあります。また、他の種類のがんと比べ、胃がんで亡くなる方が最も多くなっています。

胃がんで亡くなる方を減らすためには、定期的に胃がん検診を受け、早期の段階でがんを発見することが大切です。

(※2)平成23年度以降、毎年度

	平成23年		平成27年		国発見率 (平成26年)
	発見者数	発見率	発見者数	発見率	
胃がん	2人	0.29%	2人	0.25%	0.13%
大腸がん	1人	0.08%	1人	0.07%	0.16%
肺がん	0人	0%	1人	0.07%	0.05%
乳がん	1人	0.2%	4人	0.74%	0.25%
子宮がん	0人	0%	0人	0%	0.01%

### ■胃がん対策を強化します

町では、これらの現状を踏まえ、胃がん検診の受診率の向上を目的に、従来の胃透視(バリウム)に加えて胃内視鏡検査(胃カメラ)を導入することになりました。

	胃透視(バリウム) 集団検診および個別検診で実施	胃内視鏡検査(胃カメラ) 個別検診でのみ実施
メリット	胃の粘膜表面だけでなく、粘膜の下や胃の外の病変も診断が可能	胃がんを疑った場合には、組織を採って診断が可能
デメリット	・放射線被ばく ・まれにバリウムが排泄されず、治療が必要になることがある	・検査に伴う苦痛がある ・組織検査による出血や麻酔によるアレルギー反応の危険

※町では、バリウムと胃カメラを毎年交互に受診することをお勧めします。詳細は、2月末に送付する「平成29年度健診受診希望調査票」でお知らせします。

### ※お問い合わせ先

町健康づくり課(担当・飯田) ☎32-6713

## げんげん運動 年に1回健診を受けて、身体のチェックをしましょう

頑張った成果を確かめるためには…

そうだ!!!

### 町の健診を受けてみよう!

10月からげんげん運動の7つの健康行動を頑張ったなあ～。

町の健診では  
体重を測ったり  
採血をしたり  
心電図など  
いろんな検査を受けるよ。  
がん検診も  
受けられるし  
結果が楽しみだな～

頑張った成果を確かめるためには…

生活習慣を変えたから  
血液検査の結果も改善されたよ!

がんばってよかったな～

### 達成感!

毎年受けるぞ!!

頑張ったへしこちゃんから  
ひとこと

年に1回は健診を受けて、自分の体の状態を知ることが大切なんだね。そうすることで、生活習慣病の予防や早期発見による治療につながるんだよ。毎年健診を継続して、毎日元気に過ごそうね!!  
これからもげんげん運動続けます(^^)

制作: 美浜町健康づくり推進協議会  
ワーキング部会 PR班



## 慶弔

12/1～12/31 受付分  
(敬称略)

### ◎ご誕生

氏名	性別	父・母	住所
林 来都	男	泰広・雅代	郷市
井村 美心	女	史志・みずえ	郷市
山田 大遥	男	強・由希	佐野
八木 瑛都	男	勉・さおり	郷市

### ◎ご結婚

氏名(旧姓)	住所
国川 翔 & (川口) 千尋	早瀬

### ◎おくやみ

氏名	住所	年齢	届出人
性川 一 卫	笹田	94	性川 孟 夫
芝井 米 子	中寺	90	芝井 博 昭
浅妻 恵美子	金山	73	浅妻 保
野原 好 子	松原	89	野原 佐智夫
角脇 眞 仁	山上	83	角脇 英 之
近藤 心 み	和田	93	近藤 政 雄
川崎 美津江	菅浜	78	川崎 康 弘
神田 清 子	久々子	95	神田 昭 子
島田 明 美	新庄	77	島田 茂
池田 まきの	佐柿	90	島田 忠 廣
中瀬 久 一	興道寺	95	中瀬 博 信
吉田 豊 子	早瀬	87	吉田 勇 一
柄本 健 一	大藪	74	柄本 宗 寿
戸田 稔 寛	佐野	88	戸田 稔 嗣
仲 巖 ウメノ	河原市	91	仲 巖 文 子
今 安 國 男	和田	88	今 安 政 和

## わが家のアイドル



岡見 和雄 さん・晴代 さん  
(木野)の長女

### 紗良 ちゃん(1歳7ヶ月)

食べるの大好き紗良だよ♡いつも  
食べすぎてママを心配させてるよw  
ピコ太郎とあんぱんちもできる  
よー(^ω^)お友達と遊ぶのもだーい  
好き♪お外で遊ぶのもだーい好き♪  
こんな紗良だけだよよろしくね!

## 町人さん



成人式で新成人代表として答辞  
を述べられた (関連記事2～3頁)

### 前田 健吾 さん(上野)

\*成人式を迎えてみて思うことを教えてください。

成人するということについて、今まで考えたことも無かったですが、これからは社会の一員として貢献したいと思っています。また、これまで支えてくれた家族や地域の人たち、友人たちへの感謝の気持ちでいっぱいです。

\*今後の抱負を教えてください。

現在、県外の大学に通っていますが、卒業後は美浜町に帰って、人との出会いや繋がりを大切にする仕事に就き、地元に戻りたいと考えています。

\*美浜町について思うことは?

人が温かく自然豊かな町だと、県外に出て感じました。美浜町は自分にとってかけがえのないふるさとです。

## 広報みはま・ハートフルクイズ

### 四字熟語ブロック分割

パズル面にある漢字群を7つの四字熟語に分割してください。うまく分割できると2つの漢字があまります。それを並び替え、美浜町の土地・地区・場所の名称をつくってください。

例

大	器	不	言	大	器	不	言
和	晩	成	実	和	晩	成	実
洋	折	衷	行	洋	折	衷	行

●応募方法

はがきに、答えと住所、氏名(感想も大歓迎!)を書いて、「広報みはまハートフルクイズ」係(〒919-1192美浜町郷市25-25)まで送ってください。

締め切りは、2月13日(月)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。

メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。

【メールアドレス】

kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp

【QRコード】



●1月号の答え 和田

●応募者総数は13人で全員正解でした。当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

## ふるさと昔話 (58)

歴文おもしろ展示品(四)  
～展示室に復元イラスト図現る～

早いもので、歴史文化館が開館して一年が経とうとしています。秋には、第一回企画展「古代、若狭海道」を開催し、歴史フォーラムの開催日には多くの人達で賑わう一日となりました。

展示室の見学にあたって寄せられる声の一つに「土器や石器等を見て、古代の暮らしがなかなか想像できない」というものがあります。さすがに出土品を見て懐かしさを感じる人もいないので、当然と言えば当然です。実際に古代景観を脳内で復元できるのは、考古学者や考古学研究者ぐらいでしょう。

そのような理由から、展示室の出土品を通じて当時の暮らしや生活の様子を知っていただくため、この冬、展示室に新しい展示品三点が生まれました。いずれも復元イラスト

ト図です。弥生時代の集落、口背湖遺跡の竪穴住居跡での暮らしを表したものの、また六世紀の前方後円墳、獅子塚古墳の石室内に地域の豪族が埋葬された姿を表したものの、そして古代の都に塩を送るため海岸部で土器による塩作りが行われた様子を表したものが、A2サイズのパネルとなって展示ケースを彩っています。これらのイラスト図は、かつて興道寺廃寺の復元イラスト図を作成した専門業者に委託し、春から制作に取り掛かってきました。

住居跡や古墳の内部の様子、土器製の風景、これらはいずれも発掘調査で見つかった遺構や出土品をもとに、ある程度の復元が可能です。調査の事例も大変参考になります。

しかし、遺跡で見つかったものが往時の全ての状況を示しているとは限りません。古墳の場合は後に盗掘(※)もされます。集落や製塩場のほとんどは廃絶したから遺跡として埋もれたわけで、当然地中に残されたものは当時の不用品ということになります。本来あるべきものが発掘で見つからないのがイラスト図には復元して描かないといけない。また、当時用いられた土器や道具の形は忠実に表現しなければならない。



↑口背湖遺跡竪穴住居跡の復元イラスト図

一方で、実際に発掘で見つからないものを脚色して描き過ぎてもいけないという、いくつもの狭間で学芸員とイラストレーターとが何度も打ち合わせしながら原画の作成が進められました。図の色合いも実際の土器や、鉄・石のそれぞれの道具に忠実にこだわって着色されています。描く景色は往時をできる限り忠実に再現し、人物はどこか漫画的で親しみやすくすることが今回のイラスト図のコンセプトです。描かれた多くの古代人たちが、展示室で皆さんのご来館をお待ちしています。

(美浜町歴史文化館)

(※)公有地や他人所有の土地の鉱物・埋蔵物等を、その権利もなく、また許可も得ずに採掘すること。

## 文芸欄

### 川柳

孫が来る優しい心持って来る

川尻 登志子(菅浜)

充電が要る人間も携帯も

長谷川 美代子(中寺)

手料理が旨すぎるから痩せられぬ

浅田 恵美子(金山)

雑音が苦手でカラオケ無縁です

福嶋 恭子(郷市)

忘却と武器使う老いの知恵

坂井 豊一(松原)

昭和人畳に布団よく眠る

加藤 茂(河原市)



■くらしのカレンダー■

平成 29年2月

1 (水)		17 (金)	10:00～ミニさくらんぼ(美浜東小学校)
2 (木)	古紙 (耳地区:河原市・南市・栄区を除く)	18 (土)	
3 (金)		19 (日)	
4 (土)		20 (月)	
5 (日)		21 (火)	9:30～保育園開放(みずうみ保育園) 13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:30～「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)
6 (月)		22 (水)	9:30～保育園開放(あおなみ保育園)
7 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:30～「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)	23 (木)	10:00～2歳児教室(はあとびあ) 13:00～3歳児健診(はあとびあ)
8 (水)	古紙 (北・南地区)	24 (金)	
9 (木)	古紙 (河原市・南市・栄区)	25 (土)	14:00～伝統芸能 in なびあす「津軽の響き」 (なびあす)
10 (金)		26 (日)	8:30～ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (～12:00 エコクル美方)
11 (土)	建国記念の日	27 (月)	
12 (日)	8:30～ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (～12:00 エコクル美方)	28 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ)
13 (月)		2月の納税 [納期限 2/28(火)] ※納付は口座振替が便利です。 固定資産税(4期)・国民健康保険税(8期)	
14 (火)	9:30～保育園開放(せせらぎ保育園) 13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:00～司法書士法律相談(はあとびあ)		
15 (水)	古紙 (東地区)		
16 (木)	住民税申告、確定申告受付期間(町役場税務課) ～3月15日 10:00～1歳児教室(はあとびあ) 13:30～育児学級(はあとびあ)		

●イベント ●健康診査・検診 ●子ども行事 ●ごみ・資源回収

- 行事の予定は、1月16日現在のものです。一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。
- 網かけの日は、役場はお休みです。
- 古紙 は古紙回収日、後に続く( )内は回収地区です。
- 休日の当番医に関するお問い合わせ先 町役場 ☎32-1111(代表) 美浜消防署 ☎32-1190

福井しあわせ元気国体2018  
福井しあわせ元気大会2018

第73回 国民体育大会 / 第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ

人口の動き

人口総数	前月比
9,867人	(-10)
男	4,820人(± 0)
女	5,047人(-10)
世帯数	
3,719世帯	(- 2)
平成29年1月1日現在	

▽表紙の写真  
1月6日に新庄で行われたカイロ講です。この行事は、五穀豊穣と家内安全を祈り、区内の子どもたちが昔から伝わる祝歌を歌いながら区内の家々を回るものです。子どもたちは、「今年の年は、めでたい年で...」から始まる祝歌を声を合わせて歌い、家の人からお礼のお菓子やお年玉を受け取っていました。

私も自身も、今回の取材を通じて、幼い頃に参加した戸祝いを思い出して、地域の人たちとの関わりによって育ったことを改めて感じるようになりました。(一)

新年が始まり、少し経ちました。いよいよ寒さも本格的になり、昨年末にはほとんど見なかった雪も見られるようになってきました。体調管理や安全運転等にお気を付け下さい。  
今月号の表紙は、新庄のカイロ講です。子どもたちが囃え歌を歌い、年頭の予祝と除災を行う「キツネナリ」戸祝い」といった行事は、現在は限られた集落でしか行われていませんが、約70～80年前までは町内のほとんどの集落で行われていたそうです。  
子どもたちが元気に祝い歌を歌う姿は、とても微笑ましく、また、少子化が進む昨今においては、尚更めでたいものを感じられました。これからも、人や世代をつなぐ、地域の伝統行事として続けることを切に願います。

こんにちは  
企画政策課です。